



2012年3月期本決算説明資料

2012年5月

2012年3月期決算報告 P. 3

2013年3月期連結業績予想 P. 10

成長戦略 P. 14

附属資料 P. 18

2012年3月期決算報告



連結損益計算書

ポイント

経常利益および当期純利益が、過去最高益。

- 売上高 燃料事業における石炭価格上昇により増収。
- 営業利益 燃料（石炭生産）事業において石炭代金決済為替レート（US\$/A\$）が前期に比べ豪ドル高となり減収による減益要因となったものの、石炭単価の上昇及びリデル炭鉱の生産販売量の増加により増益。
- 特別利益 投資有価証券売却益2,116百万円を計上。
- 特別損失 固定資産減損損失808百万円、及び投資有価証券評価損601百万円を計上。

(単位：百万円)	2011/3期	2012/3期	対前期比較
	金額	金額	増減額
売上高	87,658	98,063	10,404
営業利益	3,102	6,290	3,188
営業外収益	280	571	291
営業外費用	829	284	▲544
経常利益	2,553	6,577	4,024
特別利益	5,869	2,756	▲3,113
特別損失	2,208	1,775	▲433
税金等調整前当期純利益	6,214	7,559	1,344
法人税、住民税及び事業税	1,589	2,772	1,182
法人税等調整額	144	▲93	▲237
当期純利益	4,480	4,880	399

連結セグメント情報

ポイント

- 燃料（石炭販売・生産）事業 詳細は、次ページ「燃料（石炭販売・生産）事業の内訳」に記載。
- 建機材事業 年度後半から需要の回復がみられたものの、引き続き営業損失。
- リサイクル・合金鉄事業 合金鉄事業において、本格操業への移行が遅れたことに加え安定的な原材料の調達ができなかったことにより594百万円の営業損失。

【売上高】

事業名 (単位：百万円)	2011/3期	2012/3期	対前期比較 増減額
燃料 (石炭販売)	74,082	82,430	8,347
燃料 (石炭生産)	14,597	19,163	4,566
建機材	3,398	3,112	▲285
不動産	516	545	29
リサイクル・ 合金鉄	526	550	23
その他	2,986	2,833	▲152
消去	▲8,450	▲10,573	2,123
合計	87,658	98,063	10,404

【営業利益】

事業名 (単位：百万円)	2011/3期	2012/3期	対前期比較 増減額
燃料 (石炭販売)	114	98	▲16
燃料 (石炭生産)	4,105	6,881	2,776
建機材	▲220	▲123	97
不動産	28	33	5
リサイクル・ 合金鉄	▲914	▲594	319
その他	▲43	▲22	21
消去	31	17	▲14
合計	3,102	6,290	3,188

※「その他事業」には、派遣研修事業、スーパーマーケット事業及び港湾事業等を含んでおります。

※売上高は、セグメント間取引消去前の売上高を表示しております。

燃料（石炭販売・生産）事業の内訳

ポイント

- 石炭販売 売上高：石炭価格の上昇により増収。
営業利益：販売数量、及びトン当たりの取扱手数料が減少したことにより減益。
- 石炭生産 売上高、営業利益：石炭代金決済為替レート（US\$/A\$）が前期に比べ豪ドル高となり減収による減益要因となったものの、石炭単価の上昇及び生産販売量の増加により増収、増益。

【売上高】

(単位：百万円)	2011/3期	2012/3期	対前期比較 増減額
石炭販売	74,082	82,430	8,347
販売数量	675万トン	650万トン	▲ 25万ト
石炭生産	14,597	19,163	4,566
販売数量	151万トン	166万トン	15万トン
消去	▲8,361	▲10,456	▲2,094
燃料事業合計	80,318	91,138	10,819

【営業利益】

(単位：百万円)	2011/3期	2012/3期	対前期比較 増減額
石炭販売	114	98	▲16
石炭生産	4,105	6,881	2,776
消去	—	—	—
燃料事業合計	4,220	6,979	2,759

【主要指標】		2011/3期 実績	2012/3期 実績
石炭販売 (4～3月)	石炭輸入販売平均価格	10,975円	12,684円
	為替 円/US\$ (実行平均レート)	85.80円	79.10円
石炭生産 (1～12月)	石炭平均価格 一般炭	US\$ 92.94	US\$ 122.06
	石炭平均価格 非・微粘結炭	US\$ 141.73	US\$ 203.03
	為替 US\$/A\$ (実行平均レート)	US\$ 0.8791	US\$ 1.0201
	為替 円/A\$ (期中平均レート)	80.54円	82.28円

※ 石炭販売・・・3月決算、石炭生産・・・12月決算

連結貸借対照表

	2011/3月末		2012/3月末		増減額 (百万円)	主な増減要因
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
流動資産	17,677	36.1	17,817	38.6	140	現金及び預金▲396、 棚卸資産+235、未収入金+315
固定資産、繰延 資産	31,345	63.9	28,361	61.4	▲2,984	有形固定資産▲1,171、 投資有価証券▲1,544
資産合計	49,022	100.0	46,178	100.0	▲2,844	
流動負債	9,262	18.9	8,384	18.1	▲877	未払法人税+1,313、仕入債務▲357、 短期借入金▲1,324
固定負債	15,508	31.6	10,940	23.7	▲4,568	長期借入金▲3,374、 長期繰延税金負債▲658
負債合計	24,770	50.5	19,325	41.8	▲5,445	
純資産合計	24,251	49.5	26,853	58.2	2,601	当期純利益+4,880、配当金▲554 有価評価差額▲1,460、為調▲909
負債・純資産計	49,022	100.0	46,178	100.0	▲2,844	

連結キャッシュフロー

(単位:百万円)	2011/3期	2012/3期	増減額	主な要因(2012/3期)
税金等調整前当期純利益	6,214	7,559	1,344	
運転資金	▲1,664	▲860	803	・売上債権の増加による減少
その他	▲2,875	▲1,615	1,260	・法人税等の支払いによる減少
営業活動によるC/F	1,674	5,083	3,408	
固定資産の増減	▲6,708	▲891	5,816	・三井松島オーストラリアにおける機械装置等の購入による減少
投資有価証券の増減	6,313	963	▲5,350	・三井松島インターナショナルにおける投資有価証券の売却による増加
その他	1,400	▲2,563	▲3,964	・定期預金(3ヶ月超)への預け入れによる減少
投資活動によるC/F	1,006	▲2,492	▲3,498	
借入金・社債の増減	▲4,195	▲5,114	▲919	・借入金の返済及び社債の償還による減少
配当金の支払	▲553	▲550	3	
その他	▲19	▲21	▲1	
財務活動によるC/F	▲4,768	▲5,685	▲916	
現金及び現金同等物換算差額	▲182	127	309	
現金及び現金同等物の増減額	▲2,270	▲2,967	▲697	
現金及び現金同等物の期首残高	13,794	11,524	▲2,270	
現金及び現金同等物の期末残高	11,524	8,557	▲2,967	

参 考 主な連結財務指標の推移 (過去5年間実績)

	2008/3期	2009/3期	2010/3期	2011/3期	2012/3期
売上高 (百万円)	75,097	107,691	61,014	87,658	98,063
営業利益 (百万円)	1,182	6,441	4,803	3,102	6,290
経常利益 (百万円)	837	4,251	5,250	2,553	6,577
当期純利益 (百万円)	2,367	▲1,251	3,463	4,480	4,880
1株当たり当期純利益(EPS) (円)	22.51	▲11.89	29.99	32.31	35.19
純資産額 (百万円)	13,813	9,040	20,203	24,251	26,853
自己資本比率 (%)	25.8	19.7	41.2	49.5	58.2
有利子負債(社債含む)残高 (百万円)	23,101	24,952	19,908	15,698	10,583
D/Eレシオ (倍)	1.67	2.76	0.99	0.65	0.39
1株当たり純資産額(BPS) (円)	131.35	85.97	145.71	174.91	193.67
総資産経常利益率(ROA) (%)	1.62	8.57	11.08	5.21	13.82
発行済株式総数 (千株)	105,178	105,178	138,677	138,677	138,677
1株当たり配当額 (円)	3.00	3.00	4.00	4.00	4.00

※ 上記指標数値は、有価証券報告書記載数値を基に作成しております。

2013年3月期連結業績予想



連結業績予想

■ 売上高

国内における販売数量は若干の増加を見込んでいるものの、価格に目を転ずれば、一般炭市況は米国でのシェールガス増産により、また原料炭市況は世界的な粗鋼生産低迷による供給過剰感から、それぞれ下落傾向にあり売上高860億円となる見通し。

■ 営業利益、経常利益、当期純利益

リデル炭鉱における生産状況も堅調に推移しておりますが、上記の石炭価格の状況に加え、最近の為替動向（米ドル安豪ドル高）も減益要因となることから、営業利益30億円、経常利益30億円、当期純利益20億円となる見通し。

（なお、豪州の税制改正に伴い、2012年7月1日より鉱物資源利用税（MRRT）が導入されることとなっておりますが、現時点において次期の見通しに与える影響は無いものと考えております。）

	2012/3期実績 金額（億円）	2013/3期予想 金額（億円）		増減額
		上期計	下期計	
売上高	980	420	440	860 ▲120
営業利益	62	11	19	30 ▲32
経常利益	65	11	19	30 ▲35
当期純利益	48	8	12	20 ▲28

連結セグメント業績予想

ポイント

■ 燃料（石炭販売）事業

石炭販売数量は増加するものの、石炭価格の下落により減収の見通し。

■ 燃料（石炭生産）事業

石炭価格の下落、また石炭代金決済為替レート（US/A\$）が豪ドル高になると見込まれることから減収、減益の見通し。

【売上高】

事業名 (単位：億円)	2012/3期 実績	2013/3期 予想	対前期比較 増減額
燃料 (石炭販売)	824	730	▲94
燃料 (石炭生産)	191	155	▲36
建機材	31	30	▲1
不動産	5	6	1
リサイクル・ 合金鉄	5	3	▲2
その他	28	26	▲2
消去	▲105	▲90	15
合計	980	860	▲120

【営業利益】

事業名 (単位：億円)	2012/3期 実績	2013/3期 予想	対前期比較 増減額
燃料 (石炭販売)	0	0	0
燃料 (石炭生産)	68	31	▲37
建機材	▲1	0	1
不動産	0	0	0
リサイクル・ 合金鉄	▲5	▲1	4
その他	0	0	0
消去	—	—	—
合計	62	30	▲32

※「その他事業」には、派遣研修事業、スーパーマーケット事業及び港湾事業等を含んでおります。

※売上高は、セグメント間取引消去前の売上高を表示しております。

燃料（石炭販売・生産）事業の内訳

【売上高】

(単位：億円)	2012/3期 実績	2013/3期 予想	対前期比較 増減額
石炭販売	824	730	▲94
販売数量	650万トン	690万トン	40万トン
石炭生産	191	155	▲36
販売数量	166万トン	167万トン	1万トン
消去	▲104	▲95	9
燃料事業合計	911	790	▲121

【営業利益】

(単位：億円)	2012/3期 実績	2013/3期 予想	対前期比較 増減額
石炭販売	0	0	0
石炭生産	68	31	▲37
消去	—	—	—
燃料事業合計	68	31	▲37

【主要指標】		2012/3期 実績	2013/3期 予想
石炭販売 (4～3月)	石炭輸入販売平均価格	12,684円	10,500円
	為替 円/US\$ (実行平均レート)	79.10円	—
石炭生産 (1～12月)	石炭平均価格 一般炭	US\$122.06	US\$114.00
	石炭平均価格 非・微粘結炭	US\$203.03	US\$154.00
	為替 US\$/A\$ (実行平均レート)	US\$1.0201	US\$1.050
	為替 円/A\$ (期中平均レート)	82.28円	80.00円

為替変動による 当期純利益影響額
US\$/A\$ 1¢豪ドル安につき 約70百万円増益
A\$/円 ¥1円安につき 約30百万円増益

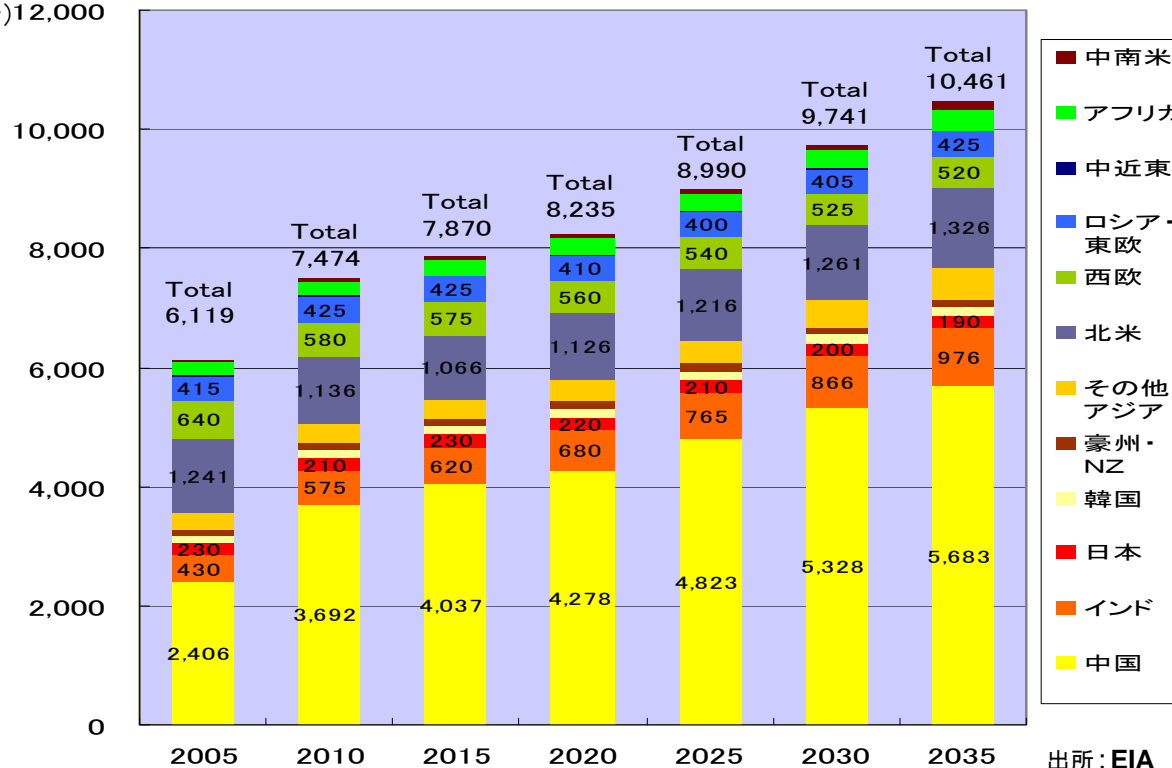
※ 石炭販売・・・3月決算、石炭生産・・・12月決算

成長戦略



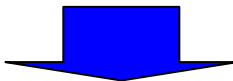
世界の石炭需要の見通し

(百万トン)12,000



出所: EIA International Energy Outlook 2011

中国の成長率鈍化も、中長期的には新興国を中心とした需要増を背景に拡大する見通し



優良な資源、エネルギーソース確保の重要性

■新規石炭鉱山の権益確保による収益力強化

3つの優位性（炭鉱経営で培った技術力、開発企画・提案力、優良需要家への販売力）を駆使した新規炭鉱プロジェクトの実現

■新規事業の育成による収益の安定化・多様化

非石炭関連の新規事業の育成

三井松島産業

国内炭鉱操業で培った技術力、
開発の企画・提案力・優良需要
家への販売力

豪州SRH社

豪州・ニュージーランドでの
石炭資源探査ノウハウ



共同出資会社； Square Exploration社
MMI コールテック社
による共同探査事業



豪州QLD州での探査風景

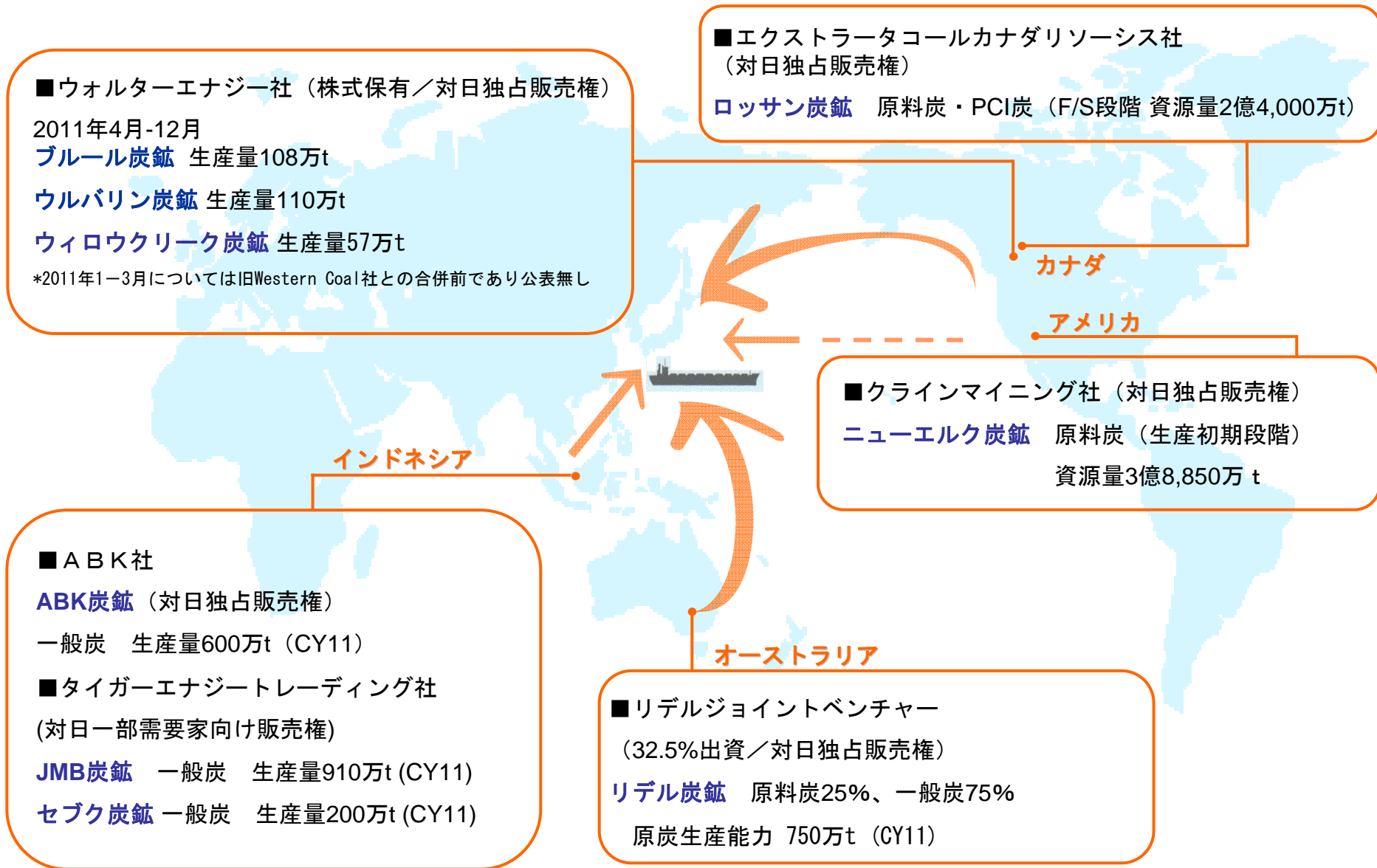
有望案件を探査という初期段階から効率的・経済的に発掘

附属資料



資源・エネルギー事業の海外展開

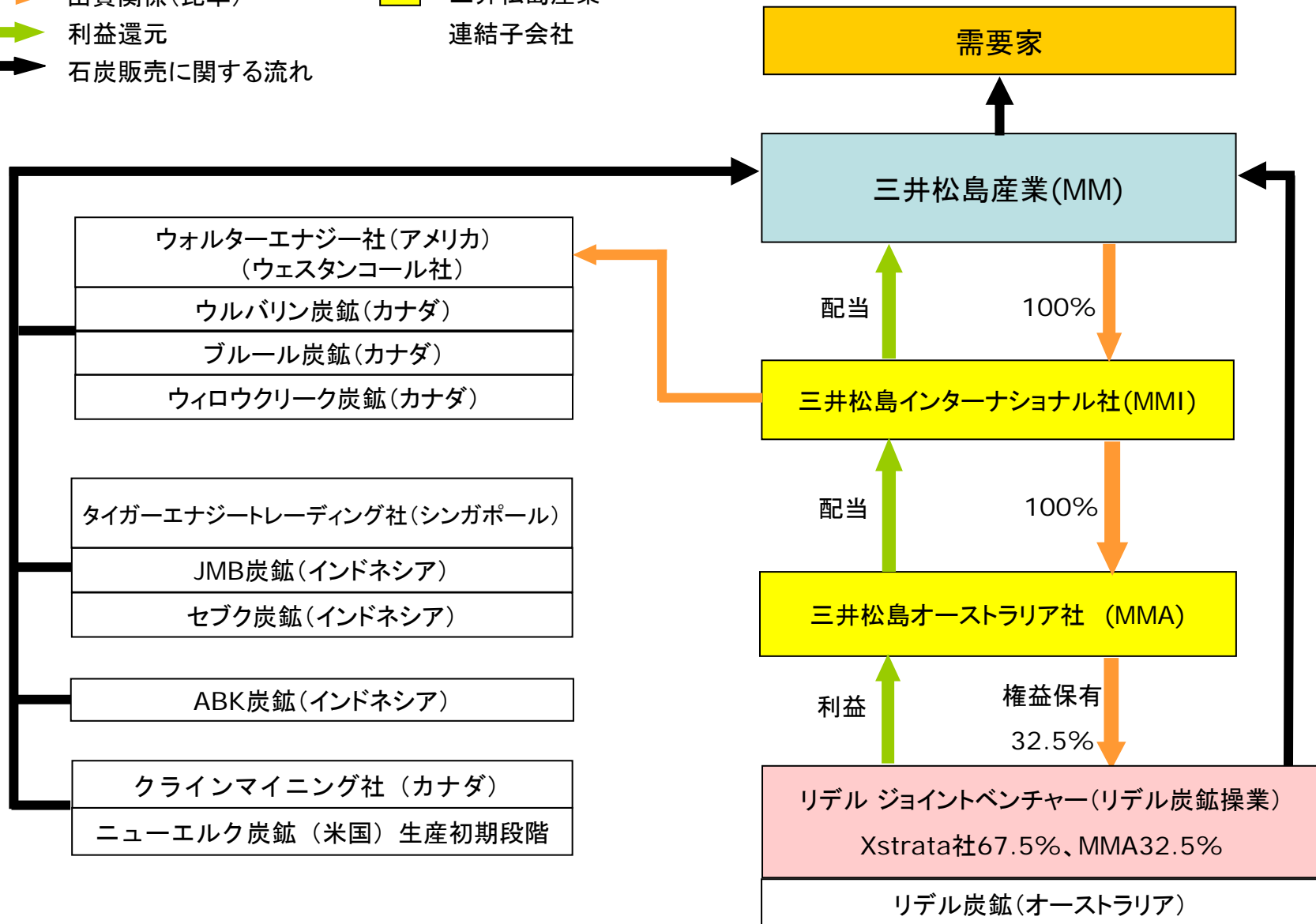
2012年4月1日現在



石炭事業における系統図

2012年4月1日現在

- 出資関係(比率)
- 利益還元
- 石炭販売に関する流れ
- 三井松島産業
連結子会社



豪州リデル炭鉱について①

- 運営形態 : 三井松島オーストラリア社32.5%、Xstrata社67.5%のJV
- 埋蔵量 : 6.7億t(確定資源量94百万t、推定資源量204百万t、予想資源量370百万t)
(露天掘4億2,300万t(可採埋蔵量 6,900万t) 坑内掘2億4,500万t)
- 生産性 : 13,180トン(製品炭)/人/年(2011年実績)
(オーストラリアNSW州全体の生産性: 10,320トン/人/年(2009-2010年露天掘))
- 生産能力 : 750万t/年(選炭工場最大処理能力)



豪州リデル炭鉱について②

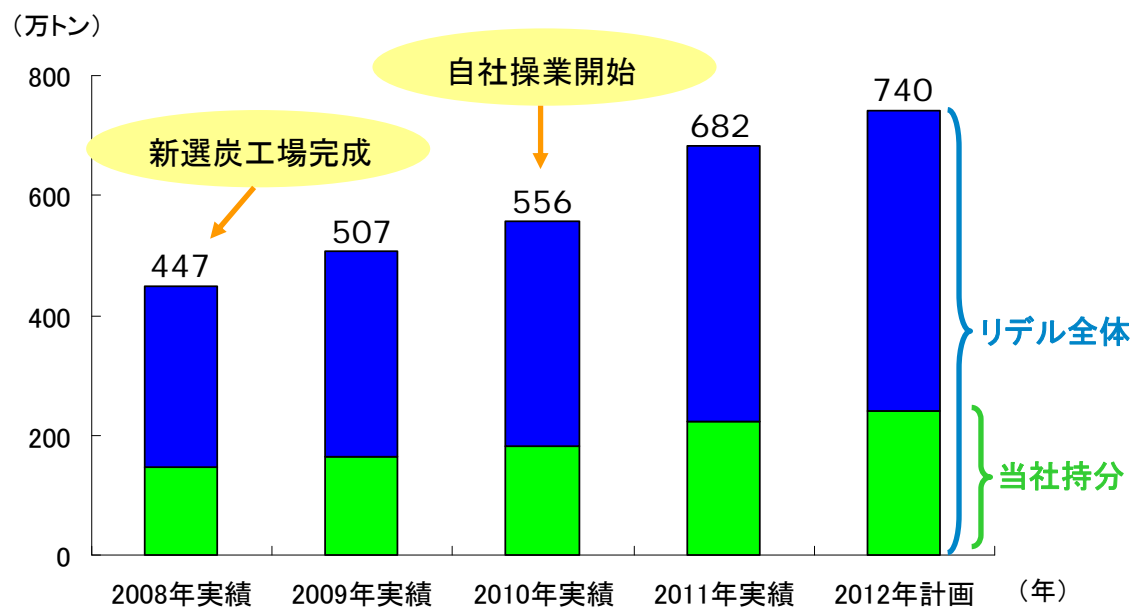
■CY2011年

生産量 実績：682万トン（計画：670万トン）

過去最高の生産量を更新

< リデル炭鉱生産（原炭）実績と計画 >

2011年12月末現在

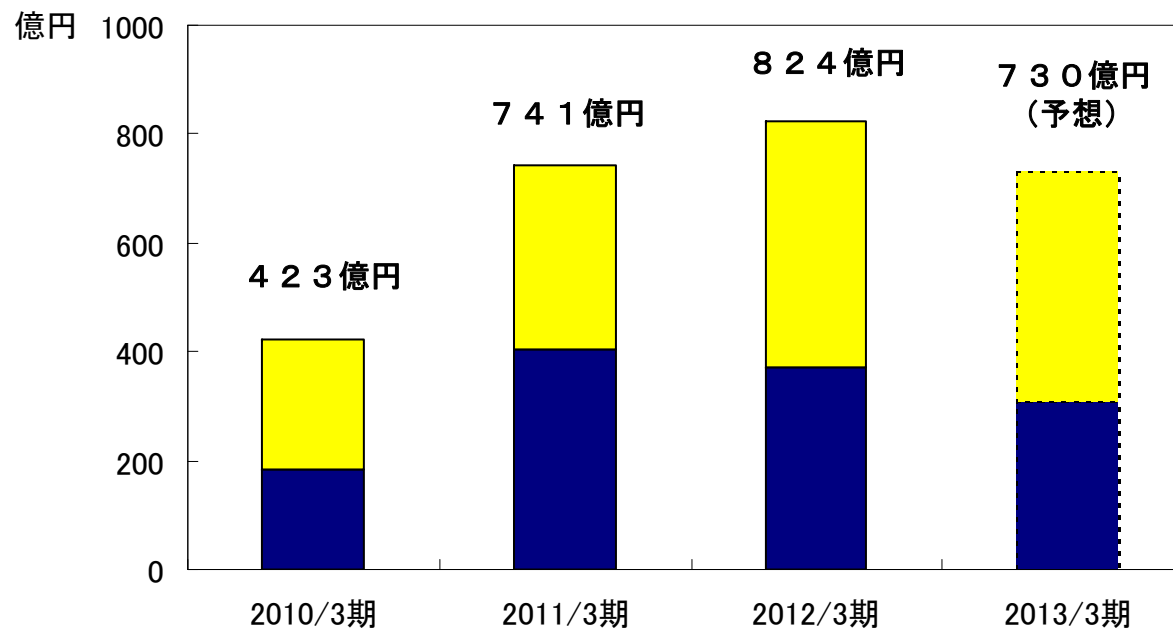


リデル炭鉱

石炭輸入販売 石炭種別の推移

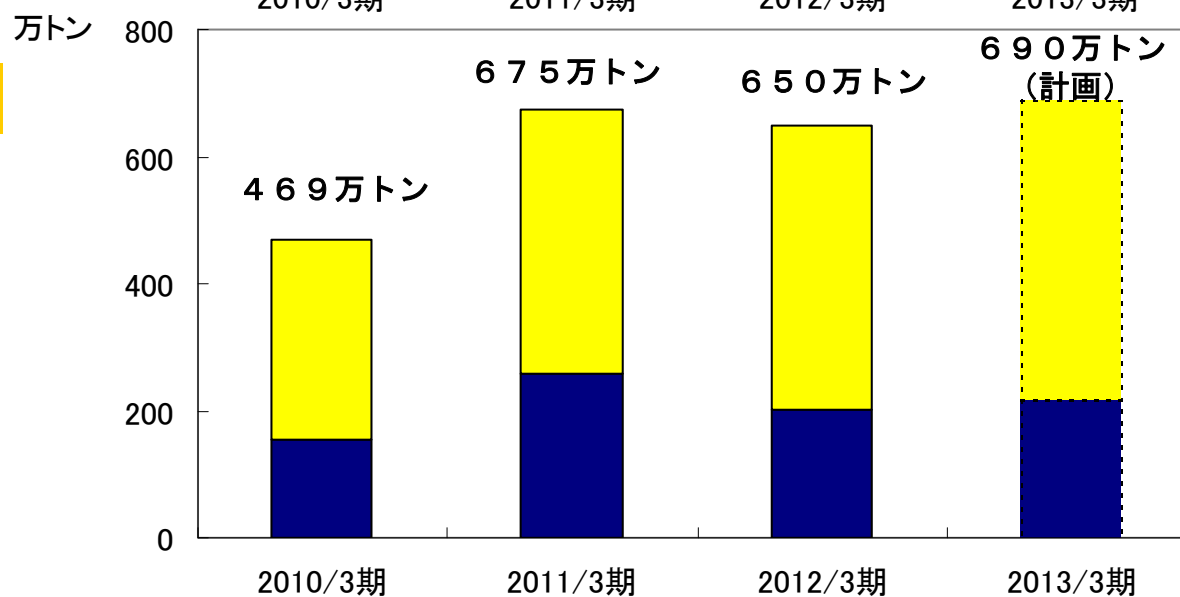
石炭種別 売上高の推移

■ 一般炭
■ 原料炭

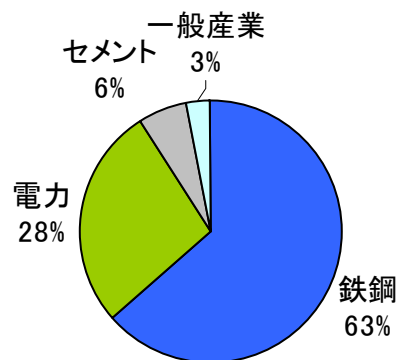


石炭種別 販売数量の推移

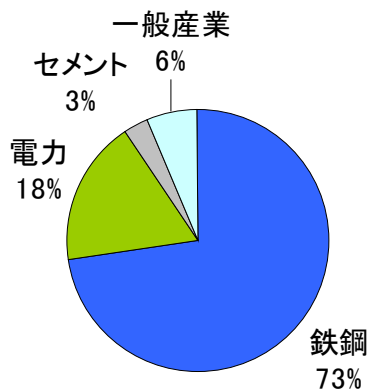
■ 一般炭
■ 原料炭



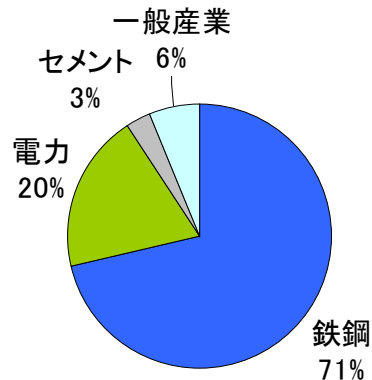
顧客業界別 石炭売上高構成比



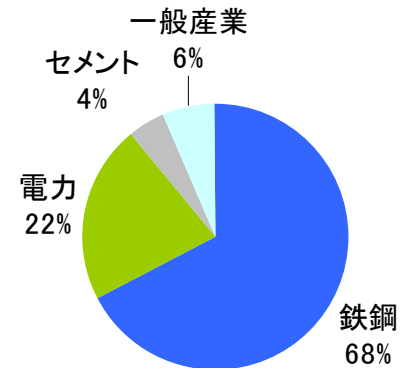
2010/3期 (423億円)



2011/3期 (741億円)

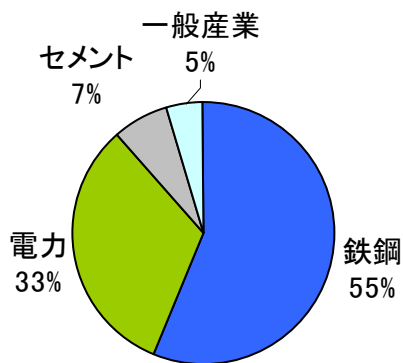


2012/3期 (824億円)

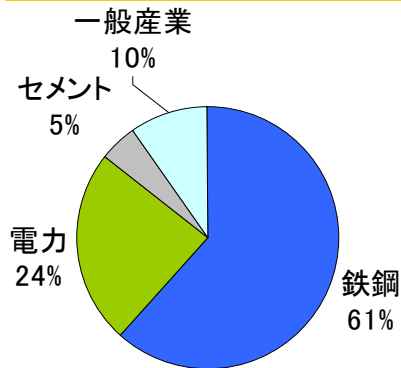


2013/3期 (730億円)
予想

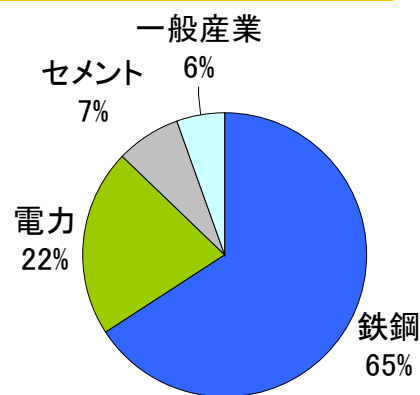
顧客業界別 石炭販売数量構成比



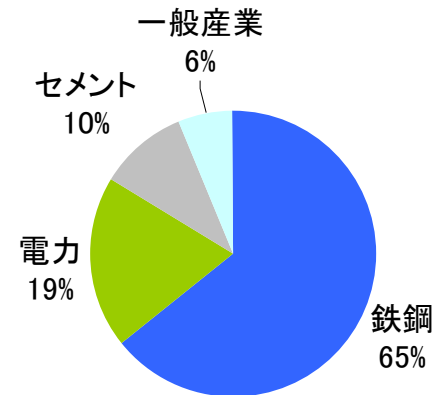
2010/3期 (469万トン)



2011/3期 (675万トン)



2012/3期 (650万トン)




2013/3期 (690万トン)
計画

本資料は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、本資料の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

本資料の将来の業績に関わる記述等については、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い、変化する可能性があることにご留意下さい。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行なってください。また本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いません。

IR問い合わせ先

総務部 TEL 092-771-2171

 三井松島産業株式会社